

現在、午前9時20分。冷たい雨が降っています。

今朝の庭に、雪が少し残ってました。

さて、人は「ああんりたい」「こうなってほしい」という願いや期待を抱きながら、日々暮らしています。この実現を願う人々を鼓舞するものが「希望」であり、徳性には「希望と勇気」・「努力と強い意志」があります。

杉田浩崇氏（広島大学大学院人間社会科学研究科准教授）は、月刊「道徳教育」の連載（第9回）の「内容項目×哲学」の中で、次のように語られています。

「 困難や失敗の体験を受け止め、くじけずに努力することができるのであれば、何が必要だろうか。 （中略） 失敗しても見守ってくれるという安心感や他者からの信頼も大切である。 （中略） 勇気を発揮する適度な自信やしなやかさが育まれるためには、少なくとも決断を無視されない、失敗しても見捨てられないという雰囲気が必要なのである。 」

「信頼」や「思いやり」や「寛容」など、温かい空気が自然と漂う学校でありたい。